

令和6年度 第1回 稲沢市廃棄物減量等推進審議会 議事録

日 時 令和6年6月26日(水)
午後1時58分～2時58分
場 所 環境センター2階 大会議室

出席委員 足立 三千夫、伊藤 浩樹、小久保 規与子、岩田 知子、桑山 桂子、小川 昌悟、
月村 正、藤谷 昌代
欠席委員 内田 英伸、横井 定
事務局 足立経済環境部長、佐藤資源対策課長、川口主幹、後藤主幹、野村主任
オブザーバー 吉川環境施設課長、木全環境保全課主幹

(新たに選任された伊藤浩樹氏に辞令を交付)

●開会

課長 ただ今から令和6年度第1回稲沢市廃棄物減量等推進審議会を始めさせていただきます。足立会長、ごあいさつをお願いいたします。

会長 (あいさつ)

課長 それでは、ここからの議事の進行は、稲沢市廃棄物減量等推進審議会条例第5条第3項の規定により、足立会長にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

●議題1「令和6年度の審議内容及び開催日程について」

会長 それでは、議題1「令和6年度の審議内容及び開催日程について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

事務局 <資料1に基づき説明>

会長 説明が終わりました。委員の皆さんのご意見はございませんか。

<質疑なし>

●議題2「令和5年度のごみの概要について」

会長 次に、議題2「令和5年度のごみの概要について」に移ります。事務局から説明をお願いします。説明の際は、項目ごとに区切って説明してください。

事務局 <資料2に基づき説明>

会長 説明が終わりました。委員の皆さまのご意見はございませんか。
リサイクル率が年々低下している中で、6ページの中段のグラフによりますと、集団回収の回収量が、令和5年度は令和元年度と比べるとほぼ半減しています。これはどのような要因が考えられますか。また、どのような対策を考えていますか。

事務局 子ども会や老人クラブ等の集団回収団体の減少が要因の一つであると考えております。対策といたしましては、集団回収団体に登録をしていただき、資源回収を行っていただくよう周知・啓発を行うことが必要であると考えております。

会長 少子高齢化社会で、集団回収を行っていた団体の解散や、活動の縮小傾向があるということですね。

事務局 コロナの影響で、地域活動が大幅に減少していることも影響していると思います。後ほど説明いたしますが、ミックスペーパーの回収を実施することで、回収量の増加につなげたいと考えております。

地域活動の減少につきましては、時代の流れもありますので、それも併せて対策を考えていきたいと思っております。

会長 「ミックスペーパー」は、資源化量に含まれますか。

事務局 これまでは「雑がみ」として「紙類」の中に含まれており、名称が「ミックスペーパー」となっても「紙類」の資源化量に含まれます。

月村委員 小牧市のリサイクル率は36.5%で、稲沢市に比べかなり高いですが、これはどのような要因がありますか。

事務局 小牧市では、剪定枝のリサイクル事業を行っており、これがリサイクル率を高めている要因の一つと考えております。今後、稲沢市でも剪定枝のリサイクル事業を検討していく必要があると考えております。

●議題3「稲沢市廃棄物減量等推進審議会に対する諮問について」

次に、議題3「稲沢市廃棄物減量等推進審議会に対する諮問について」に移ります。事務局から説明をお願いします。

事務局 <資料3に基づき説明>

会長 「水平リサイクル」という言葉は、私たちにはあまりなじみがない言葉ですので、もう少し詳しく説明していただけますか。

事務局 ペットボトルを繊維やトレー等の素材にリサイクルするのではなく、ペットボトルの原料としてリサイクルするものです。「ボトル to ボトル」とも言われています。

会長 委員の皆さまのご意見はございませんか。
説明にありましたリサイクル先の「見える化」については、どのように考えていますか。

事務局 現在は、ペットボトルの売却後のリサイクル先を市で指定しておりませんが、水平リサイクルを行うことにより、ペットボトルのリサイクル先がペットボトルに限定されることとなります。リサイクル先が明確に「見える化」されることは、住民の分別意欲の向上に繋がると言われており、大手飲料メーカーもメリットの一つとして挙げております。

小久保委員 水平リサイクルを進めるにあたり、ある程度業者の見当はついてはいますか。

事務局 現在、大手飲料メーカー2社から話をいただいております。
大手飲料メーカーでは、ペットボトルの原材料について、再生原料の割合を高くする目標を掲げており、その達成のためには、国内に流通しているペットボトルの量では足りず、今後、囲い込みや取り合いが起こるとも言われているような状況です。
今後は、本市の収集形態が大きく変わることがないように、水平リサイクルができる体制を整えていかなければならないと考えております。

足立部長 市内に工場のある企業と直接お話する機会があり、その中で、市内の工場単独ではなく企業全体でペットボトルをリサイクルするという計画があるという話がありました。市民にとって一番見える化として分かりやすいのは、稲沢市で出たペットボトルを稲沢市の工場でリサイクルするということだと思いますが、まだそこまでは話が至っていない状況です。

小久保委員 今後、ペットボトルの回収方法が変わる可能性はありますか。

事務局 現在水平リサイクルを実施している自治体を参考にしますと、おそらく大きなルール変更はしなくて済むと思います。異素材であるキャップやラベルは外して丸ボトルの状態を出していただければ、特に問題なくリサイクルできます。自治体によっては、合意書や協定を交わして売却先やリサイクル先を固定していますが、市民の方の出し方については大きな変更はないと思っております。

岩田委員 ペットボトルの出し方について、市では、キャップやラベルを外して洗って出してくださいとしていますが、あるスーパーではキャップやラベルを外さず出せばいいとしています。その違いは何ですか。

事務局 キャップやラベルが付いていても、リサイクル上は問題はないと聞いておりますが、再商品化の際、ペットボトルのベールの品質が下がるため、売却額が下がります。スーパー等の回収場所では、住民の方が出しやすいよう、外さずに出すことにしていると思います。市としては、質の高いリサイクルを行うとともに、ペットボトルをより高く売却することで、より多くの売却金及び奨励金を行政区に還元するため、従来どおりキャップやラベルは外して出していただくルールとしております。

小川委員 例えば、500ミリリットルのペットボトルを何本出せば何本分リサイクルされるのか分かりますでしょうか。分かれば、「見える化」の具体的なイメージが湧くと思いますが、いかがでしょうか。

事務局 ただ今資料を持ち合わせておりませんが、諮問の内容に関する事項ですので、次回の審議会で資料を調べさせていただきたいと思います。

会長 よろしく申し上げます。

諮問事項について、方向性としましては、事務局の説明した内容を伺う限り、大きな問題点はないと考えられます。

諮問事項につきましては、ペットボトルの水平リサイクルについて、調査及び検討を進めていくことでよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

会長 ありがとうございます。

なお、答申書案は、次回の審議会で委員の皆さまにお渡しするというところでよろしいでしょうか。

事務局 はい。

●議題4「その他」

会長 次に、議題4「その他」ですが、事務局から報告はありますか。

事務局 <1点目 資料4「フードドライブ」について>

会長 説明が終わりました。委員の皆さまのご意見はございませんか。

<質疑なし>

事務局 <2点目 資料5「子ども用品リユース事業」について>

会長 説明が終わりました。委員の皆さまのご意見はございませんか。

桑山委員 平和さくら児童館は利用者数が多いので、そこで子ども服等のリユース事業を行えばリユース事業の利用者が増えると思います。

事務局 平和さくら児童館では、このリユース事業を始める前から、保護者を主体とした子ども服のリユース活動である「ママズリユース」に取り組んでいただいていることから、市の事業を広げるよりも、連携して事業を進めていきたいと考えております。今後は、利用者の目に触れるようチラシを置くことや、「ママズリユース」の窓口で市の常設の窓口があることをご案内することで、連携した周知をしていきたいと思います。

事務局 <3点目 「発火性危険物の別収集」について>

会長 説明が終わりました。委員の皆さまのご意見はございませんか。

<質疑なし>

事務局 <4点目 「ミックスペーパー回収」について>

会長 説明が終わりました。委員の皆さまのご意見はございませんか。

<質疑なし>

事務局 <5点目 「ごみボックスの補助」について>

会長 説明が終わりました。委員の皆さまのご意見はございませんか。
この事業の補助金額はどれくらいでしょうか。

事務局 補助金額はごみボックス購入費の4分の3で、上限は3万円となっております。

事務局 <6点目 「ごみ分別アプリ『さんあ〜る』外国語版チラシ」について>

※日本語版のチラシに加え、外国語版のチラシを作成予定であることを報告

会長 説明が終わりました。委員の皆さんのご意見はございませんか。

他の自治体で「さんあ〜る」を導入していれば、その自治体の「さんあ〜る」の画面を確認することはできますか。

事務局 選択画面でその自治体を選択することで確認できます。

会長 では、「さんあ〜る」の利用者が、他の自治体のごみの分別方法やごみの出し方を稲沢市と比較することはできますね。

その他、全体を通して委員の皆さまのご意見はございませんか。

特に御意見も無いようですので、以上で本日の会議は終了させていただきます。

皆様の御協力ありがとうございました。それでは進行を課長にお戻しいたします。

課長 足立会長、ありがとうございました。

次回の審議会の開催予定は、11月下旬を予定しておりますので、よろしくお願ひいたします。皆様、本日はお疲れさまでした。

●閉会